

**横浜市港南区地区センター
指定管理者選定委員会（第2回委員会）議事録**

開催日時	令和5年8月23日（水）13時30分から15時10分まで
開催場所	港南区役所5階 特別会議室
出席者	藤崎委員長、宮田委員、吉田委員、村田委員、荻久保委員（計5名）
傍聴者	なし
議題	1 面接審査 2 審議
決定事項	「特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会」を、横浜市上大岡コミュニティハウス第4期指定管理者の指定候補者に決定した。
議事	<p>1 面接審査</p> <p>1 団体あたり、15分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次のとおり。</p> <p><応募団体 特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会></p> <ul style="list-style-type: none">・学びの拠点、地域づくりの拠点として、地域活動の援助、新たな地域づくりの支援をしている。・地域活動に参加する男性が少ない現状を踏まえて、地域防災などを題材に「上大岡男塾」を開催している。この講座をきっかけに地域活動に参画するようになってほしい。・近隣の方の利用を基本と考えているので、自主事業については、広報よこはまに加えて、地域への回覧や掲示板を活用して周知を行っている。・ダンスなどは上大岡コミュニティハウスまつりでも発表の場があるが、展示ができる機会は少ないので、利用者の作品を展示するイベントを行っている。利用者同士のコミュニケーションや新たな利用の促進を意図している。・今後の事業展開として、地域の各種団体・他施設との連携に力を入れていきたい。既に港南区子育て連絡会には参加しているが、社会福祉協議会・地域ケアプラザ・子育て支援拠点・市民図書館とのより一層の連携を考えている。 <p>【主な質疑応答】</p> <p>〈委員〉</p> <p>高齢者・未就学児対象の事業について説明があったが、小中学生・子育て中の年代の方に対してのアプローチはどのように考えているか。</p> <p>〈回答〉</p> <p>小中学生はロビーに来ることが多く、トランプ等ゲームの貸し出しを行っている他、書籍も揃えている。また小学生向けとして、春夏の休みを中心に自主事業として工作や料理教室を開催している。子育て世代に対しては、キッズスペースの開放や、地域のボランティアによる読み聞かせを通年で行っている。</p> <p>〈委員〉</p> <p>孤立しがちな高齢男性向けの事業を実施しているのは素晴らしいことだと思った。回覧板や掲示板以外で、どのような広報をしているか。</p>

〈回答〉

掲示板と回覧板の他に電子申請を活用しており、若い世代の方を中心に利用されつつある。まだ電話での申込の方が多いが、電子申請での申込も半数近くになってきている。

〈委員〉

作品の展示会は、誰でもできるのか。

〈回答〉

自主事業に参加するなど、普段から上大岡コミュニティハウスを利用する方を対象としている。

〈委員〉

小学生・中学生にとっての遊ぶ場所が少ないように思われるので、毎月、もしくは夏休みの平日の午前中などにイベントを増やしていただけるとありがたいと思う。今後計画はあるか。

〈回答〉

近くに上大岡小学校があるため、小学生の上大岡コミュニティハウスの認知度は高い。小学生はまち歩き授業でも来館する。小学生が一人で来館し、読書して過ごしている様子も見ているので、今後小学生の居場所としての検討も必要と考えている。

夏休みの小学生向け事業は、前半に集中してしまっている現状がある。後半に増やすことも考えている。

現在実施している「カプラ体験」については、事業を支える大人側のリーダーも必要な状況である。地域のボランティアさんとも連携していきたい。

〈委員〉

コミュニティハウス利用の申込方法について、電話での申込ができないということを聞いており、改善の余地があるのではないかと考えている。抽選方法・優先利用等について現状はどうなっているか。

〈回答〉

2カ月前の応募日の午前9時に来館していただき、利用希望が重複した場合はその場で抽選を行っている。翌日からは電話で仮予約を受け付け、一週間を目途に来館をお願いしている。利用希望が重複した場合でも抽選になるのは年数回にとどまっている。理由としては、その場で団体間調整ができてしまうこと、また部屋が間仕切りで仕切られているので利用人数に応じて柔軟な運用ができることが挙げられる。

また、各種団体・幼稚園・保育園などについては優先団体とし、2カ月以上前から予約を受け付けている。

〈委員〉

稼働率や利用人数の目標はどのように設定しているか。またそれを達成するためにどのような取組を考えているか。

〈回答〉

現在の稼働率が約6割。これ以上の水準に持っていくことは難しいが、少しでも稼働率を上げていきたいと考えている。また利用人数は昨年度約23,000人だが、25,000人を目標としている。

稼働率を上げるための具体策としては、週2回施設ホームページで空き室の情報をお知らせして

いる。

〈委員〉

新型コロナウイルス感染症を踏まえて行った、あるいは今後考えている対応はあるか。

〈回答〉

用具の貸出を全面的に中止する施設が多かったが、当館では消毒をしながら貸し出しを行ってきた。利用者への影響は最小限にとどめることができたと思う。

〈委員〉

施設ホームページのウェブアクセシビリティ「JIS X 8341-3:2016の適合レベル AA」は取得しているか。またいつ取得したか。

〈回答〉

確認する。

2 審議

第4期横浜市上大岡コミュニティハウスの指定管理者を選定するにあたり、第1回選定委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、「特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会」を指定候補者として選定した。

【委員意見】

・コミュニティハウスを日々利用している立場から見ると、この評価が妥当だと思っている。今回の評価をふまえて、引き続きコミュニティハウスの運営を支えていきたいと考えている。

・小規模な施設ではあるが、社会教育の拠点となるという姿勢に好感を持った。また、地域で孤立しがちな高齢男性をターゲットとした事業を展開している点もよいと思った。その一方で、大学生や働く世代を対象とした事業が手薄な点については残念に思った。

また団体の財務状況について、現預金高が極めて少ない点が心配である。今後人件費・光熱水費等のコスト上昇も予測される中、コスト削減には相当程度取り組んでいる状況からすると、反対に何らかの収益策について検討していく必要があるのではないかと考える。

・日頃の運営についてはしっかりと行っていると思った。特に中高年男性をターゲットとした自主事業はよいと思った。一方で、より幅広い世代をターゲットにした取組については、もう少し工夫の余地があるのではないかと感じた。また部屋予約の方法について、原則来館での予約とのことだが、公平性の観点から他の方法についても考える余地があるのではないかと感じた。

・評価できた点としては、地域に根付いて運営してきた実績があること。特に未就学児や小学生を中心として手厚く事業を展開していると感じた。

一方で、数値目標の設定及び目標到達に向けた具体策が分かりづらかった。また、新型コロナウイルス感染症対策についても、取組がみえてこなかった。他施設ではオンラインなどを活用した事業を展開しているので、そういった工夫があっても良いように感じた。

また、原則来館のみの方法となっている利用予約について、具体的な改善策が提示されていな

	<p>かったが、インターネットでの予約を求める利用者からの声もあるようなので、今後対応が必要である。</p> <p>施設ホームページのセキュリティについても、現状と課題を整理したうえで、より一層の取組が必要である。</p> <p>・幅広い年齢層をターゲットにして自主事業を行っていること、また一人で来館する小学生に対して目配りしているという説明もあり、好印象を持った。</p> <p>一方で、稼働率向上のための具体策について、施設ホームページでの空き状況の周知の他にも何らかの工夫が必要ではないかと感じた。また、今後の具体的な事業展開について、もう少し具体的な説明があるとよかった。</p>
特記事項	特になし